

生涯学習かわら版

北信地区活動だより

～「人・つながり・地域」づくりを通じたウェルビーイングの実現～

令和6年12月3日

北信教育事務所生涯学習課 文責:指導主事 菅原 勇介

北信教育事務所の生涯学習課では「社会教育」「スポーツ振興」「社会人権教育」を推進しています。今回は、先日実施した、「コミュニティスクール(CS)コーディネーター研修会」の様子をお伝えします。



CSコーディネーター研修会を開催しました



講師:早坂 淳 氏

11月26日(火)県立長野図書館3階のオープンスペース「信州・学び創造ラボ」にてコーディネーター研修会を開催しました。当日は地域コーディネーターの方や学校支援ボランティアスタッフの方、教職員など40名程の参加があり、「学校と地域による連携・協働は何を可能にするのか～熟議に必要なのは強いリーダーかあるいは対話と共感か～」をテーマに、長野大学社会福祉学部教授で信州型CSアドバイザーの早坂 淳氏を講師に講演とグループワークにより学び合いました。

○早坂氏からのグループワークの課題(一部)

問い「熟議に必要なのは、強いリーダーかあるいは対話と共感か」

- 1 強いリーダーがいること(トップダウン)のメリットは何か。
- 2 逆にそのデメリットは何か。
- 3 当事者による対話と共感をベースにした取組(ボトムアップ)のメリットは何か。
- 4 逆にそのデメリットは何か。



信州・学び創造ラボのオープンな雰囲気の中の研修

まとめ① トップダウン 強いリーダー

メリット: 話が早い

デメリット: 全体主義と思考停止
「正解」が無い課題満載の社会

まとめ② ボトムアップ 対話と共感

メリット: 民主主義, 当事者意識

デメリット: 時間と手間がかかる
時に妥協によるつまらない結論も

どちらにもメリット、デメリットがある・・・

では全員で何かをつくりあげていくときに、必要となるものはトップダウン、ボトムアップ以外にどのようなことが必要になるのでしょうか。

今後の各校での運営委員会・協議会などの場で、対話のテーマとして考えてみてはいかがでしょうか。

(早坂氏の講演資料より一部抜粋)

参加者が学んだこと、いかしたいこと

- ・気軽な感じで温かい雰囲気での研修で安心して楽しく参加しました。熟議について、より深く学ぶことができました。日常の会議等でも使える内容でした。
- ・対立は避けるべきものではなく、喜んで受け入れ、新しい考え方や発想を得ていく、という発想が刺激的でした。コミュニティスクールは子供たちだけのものではなく、市民の育成のためにある、という大局的な考え方も、コミュニティスクールを運営していく上で、大きな支えになると感じました。
- ・「自分は一部しかわかっていない」という前提での熟議、また、CSやそのプロセスを通して、私たちが「市民」になっていくという視点が、とても新鮮で、学びになりました。

熟議に関わる研修やCSの実践事例紹介などをします。お気軽に連絡してください。ぜひ視察にも行かせてください。

■■問合せ先■■■

北信教育事務所生涯学習課 〒380-0836 長野市大字南長野南県町686-1 担当:菅原

Tel:026-234-9552 E-mail: hokushinky@pref.nagano.lg.jp

